

1 ゲンチアナ末

2 確認試験の項を次のように改める。

3 確認試験 本品0.5 gにメタノール5 mLを加えて5分間振り混
4 ぜた後、ろ過し、ろ液を試料溶液とする。別に薄層クロマト
5 グラフィー用ゲンチオピクロシド1 mgをメタノール1 mLに
6 溶かし、標準溶液とする。これらの液につき、薄層クロマト
7 グラフィー (2.03) により試験を行う。試料溶液及び標準溶
8 液10 μ Lずつを薄層クロマトグラフィー用シリカゲル(蛍光剤
9 入り)を用いて調製した薄層板にスポットする。次に酢酸エ
10 チル/エタノール(99.5)/水混液(8 : 2 : 1)を展開溶媒として
11 約7 cm展開した後、薄層板を風乾する。これに紫外線(主波
12 長254 nm)を照射するとき、試料溶液から得た数個のスポ
13 ットのうち1個のスポットは、標準溶液から得たスポットと
14 色調及び R_f 値が等しい。また、試料溶液には R_f 値0.8付近に
15 スポットを認め、このスポットは、塩化鉄(III)・メタノール
16 試液を均等に噴霧するとき、帯緑黄色～褐色を呈する。

17

18